

## 令和5年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ふれあい健康センター（愛称:アクアパークにいがた）		
管理者名	福田道路・オーエングループ	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
担当課	環境部循環社会推進課		
所在地	新潟市西区笠木3629番地1		
根拠法令			
設置条例	新潟市ふれあい健康センター条例		
施設概要	敷地面積: 17,065.43㎡ 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積: 3,823.92㎡ 建築面積: 2,605.34㎡ 主な施設内容 1階: アクアガーデン(流水プール, 幼児用プール, 気泡・噴流プール, たこつぼ湯, 座湯, 寝湯, ミストサウナ, 屋外ジャグジー), フロント, ロビー 2階: 浴室(人工温泉風呂, ドライサウナ, 水風呂, 更衣室), レストラン, カフェラウンジ, ロビーラウンジ, エクササイズスタジオ, 休憩室, マッサージ室, キッズルーム		

施 設 設 置 目 的
<p>市民の健康の増進に寄与するとともに、リサイクル意識の向上に資することを目的として、新潟市ふれあい健康センターを設置する。</p>
管 理 ・ 運 営 に 関 する 基 本 理 念 , 方 針 等
<p>設置目的を達成し、地域の憩いの場として、又は気軽なレクリエーション施設として活用されることを目指して次の点に留意して事業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①市民が広く利用する、公の施設であるという性格を十分認識する。</li> <li>②利用者にとって快適な施設の環境づくりを目指す。</li> <li>③より多くの人に利用してもらえるよう利用促進に努める。</li> <li>④日常点検及び定期点検により適切に保守・整備を行い、常に施設を最良の状態に保つ。</li> <li>⑤利用者の安全を最優先に考える。</li> <li>⑥効率的な運営を行い、経費の節減に努める。</li> </ol>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	市民の健康増進への寄与	健康教室参加人数年間6,100人以上	健康教室年間参加人数 6,162人	A	無料体験会の実施や、新たな周知チラシの配布等の結果、昨年度実績から利用者数131%増加した点は評価できる。
	夏季など混雑時の満足度向上	夏季の利用者アンケート調査で「やや満足」以上が95%以上	令和5年8月実施 ご来場者様アンケート調査 95.0%	B	
	目標利用者数の達成	年間利用者数240,000人以上	年間利用者数 239,572人	B	R6.1月の能登半島地震の影響により2日間の休館対応が必要になったため、その2日間の利用者見込み1,305人を加味し、評価。
	閑散期の利用者割合増加	10～3月の利用者数111,000人以上	10～3月の利用者数 103,013人	C	昨年度と比べると、利用者数は増加しているが、目標達成には至らなかった。イベント内容の検討や情報発信の強化により、目標達成できるようにしていただきたい。
財 務	事業収支の健全性	収支の黒字化	赤字決算	C	売店や自動販売機などの収入の増加はあったものの、回数券の売り上げが伸びず、目標達成には至らなかった。
	安定収益の確保	レストラン利用者25,800人以上	レストラン利用者数 25,941人	B	
	飲食部門の経費削減	レストランの仕入れ経費率41%以下	仕入れ経費率 41.1%	B	昨今の物価高騰の中、既製品ではなく自家製で提供したり、余った食材を魅力あるサービスランチとして提供するなど、工夫を凝らし経費率の引下げに尽力したことを評価。
業 務	リサイクル意識の向上	市民のリサイクル意識の向上に資する事業を新たに1つ実施する。	レストランでリターナブル箸を 不定期で導入した。	B	
	事故発生時の対応の適切さ	救急救命全体訓練年2回以上、プール監視員救助訓練年2回、短時間訓練毎日実施、避難訓練年2回実施し、事故発生に備える。	救急救命訓練全体1回、個別1回、プール監視員救助訓練年2回、短時間訓練毎日、消火・避難訓練2回実施した。	B	
	施設の清潔感の維持	利用者満足度調査の各施設清潔度「やや満足」以上がアクアガーデン及び更衣室で80%以上、浴室・サウナで85%以上	各施設利用者満足度 アクアガーデン 80.7% 更衣室 75.5% 浴室・サウナ 85.6%	C	アクアガーデンと浴室・サウナでは目標達成しているが、更衣室は達成できなかった。しかし、アンケートでは良い評価もあり、施設全体として、継続して満足度の向上を図ってほしい。
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書に定める事項を日程を定め遵守した。	B	
人 材	適切な人員配置と迅速な対応	事業計画書及びマニュアルに沿った適正人員配置の実施	安心安全なサービスの提供の観点から、施設の繁閑に合わせた適正な人員配置を実施した。	B	
	職員の業務理解度と能力向上	指定管理者研修、類似施設見学、OJTの実施	指定管理者研修、類似施設見学、OJTを実施。	B	
	人材育成と職員の満足度向上	定期昇給の実施、関連資格の取得	定期昇給の実施と関連資格取得を奨励した。	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている  
B: 要求水準(評価指標)が達成されている  
C: 要求水準(評価指標)が達成されていない  
※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。  
(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんのでご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

健康教室及びレストラン利用者数は、評価指標数値を上回る事ができましたが、施設の年間利用者数は1月の地震による臨時休館が影響して未達の結果となりました。令和6年度は保全工事により1年間の休館となりますが、従業員はモチベーションを下げる事なく休館前の最終営業日まで利用者への対応を行っていました。また、収支に関しては若干のマイナスとなってしまいましたが、利用者数の増加と一般利用者の料金改定により例年に比べて大幅に改善いたしました。  
令和7年の営業再開後は、安全・衛生的で利用者へ寄り添ったサービス向上策を展開して、また利用しなくなる施設運営を継続していくとともに閑散期対策をしっかりと行い、全ての評価項目でB以上になるように取組みたいと思います。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )

市民への健康増進への寄与のため行っている健康教室の利用人数を昨年度から大幅に伸ばしているほか、令和6年1月の能登半島地震による被災者、災害ボランティアへの浴室無料開放の突発的な事象にも適切に対応した点は高く評価できる。  
一方、10月～3月の閑散期の利用者数目標や収支の黒字化の目標は達成できなかった。  
イベント内容の検討や情報発信を強化し、市民への利用促進、収支改善を図りたい。